

東南アジアにおける生薬の比較研究 (第Ⅺ報)*

——ジョクジャカルタの jamu (1)——

新 田 あ や**

A Comparative Study of Crude Drugs in Southeast Asia, Part XII* ——Jamu Materials in Yogyakarta (1)——

Aya NITTA**

Indonesian drug (jamu) materials of “traditional Javanese” type were collected from three shops in Yogyakarta, YJS in 1974, and YJJ and YJM in 1978. Sixty-one materials were obtained from YJS, and whose owner was a half-blooded Javanese-Chinese, and 66 and 55 from YJJ and YJM. The owner of YJJ was an old woman who spoke only Javanese. YJM was located in a food market and was owned by a Javanese who could speak Indonesian.

Jamu samples comprised mainly plant materials, together with one animal, a kind of coral, and three minerals. Plant materials were divided into ten groups, namely wood-trunk, bark, rhizome, root, leaf, flower, fruit, seed, herb and others.

This article deals with about a half of the plant materials, namely 43 kinds in the groups from wood-trunk to flower. Their botanical origins were identified, and the vernacular names cited in the literature are presented.

はじめに

1971年以来、著者の調査によれば、東南アジア諸国には、少なくとも2～3の系統の全く異なる医療と、それに伴った薬物、すなわち近代的医療のための合成医薬品と広い意味での伝統的医療に使用される生薬あるいは薬用植物、動物および鉱物がみられる。現在、都市部の、しかもごく一部の人々が前者の恩恵に浴し、大多数の人々はなお後者に強く依存している状況である。本シリーズの報告は、

この伝統的医療について、それに使う薬物を調査することによって解析を試みようとするものである。

東南アジア諸国のいずれの国にも中薬か、またはインド生薬——量的な問題を抜きにすればその両方——と、狭い意味での伝統的生薬がある (Table 1)。ビルマとタイの国境は現在インド生薬と中薬の境界線であって、このことはまさにインド人と華人の進出の接点を示している。なお、Table 1には品目数などを考慮して表現した。著者の既報および未報の資料によれば、中薬は使用に際し十分な数と考えられる。シンガポールおよびマレーシアのインド生薬は1店で約50品目みられるにすぎず、しかも食糧品店の兼業である。一

* 第Ⅺ報：Nitta, Aya *et al.* 1980. *Southeast Asian Studies* 18(1): 124-153.

** 京都大学薬学部; Faculty of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University, Yoshida, Shimoadachi-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan

Table 1 Traditional Drug Materials Existed in Southeast Asian Countries

Country	Chinese	Indian	Local
Singapore	‡‡	+	
Malaysia	‡‡	+	+
Indonesia	‡‡		‡‡
Thailand	‡‡		‡‡
Burma		‡‡	‡‡

+ : existence of drug materials

‡‡ : less than 300 kinds in a shop

‡‡‡ : more than 300 kinds in a shop

方、インド生薬は数百品目以上あるともいわれていることを考慮すれば、50品目は最少必要数であろう。狭義の伝統生薬については、タイ国では1店の品目数が400~700、ビルマでは100~200、インドネシア、マレーシアでは約50と少なくなる。インドネシアとマレーシアでは品目数はほぼ同じとみられるが、利用状況が違い、インドネシアの方がより利用されていると思われる。タイ国とビルマには伝統医の国家試験制度がある。このように伝統にもさまざまなレベルがあるが、著者は商品として流通している薬物をまず取り扱いたい。

さて、インドネシアでは中薬とインドネシアの伝統生薬 *jamu* がある。本報は *jamu* の出自を明らかにし、かつその有効性を科学的に実証するための基礎的資料とすることを目的としている。

Jamu は正確にはジャワの伝統的薬物であるといわれている。1971年から10年間にわたって、インドネシア各地において市場性をもっている *jamu* 材料（生薬）を収集し、14カ所から約850点を入手し、現在京都大学薬学部に保管している。

Jamu という用語ではないが、インドネシアの薬用植物として、戦前は主としてオランダ人による研究が多数あり、その概要は van Steenis-Kruseman [3] によって知ることがで

きる。それらの中では Heyne [8] が薬用植物のみならず、有用植物全体を広く取り扱い、内容も極めて豊富である。戦時中、日本海軍による『東印度諸島産薬用植物資源に関する調査報告書』[9] は *jamu* を市場性のあるものとして取りあげ、田舎でドクンと呼ばれる民間医も近隣の山野で用時採取する薬用植物に加えて街の *jamu* 薬店で生薬を買って使うことを記録している。それら *jamu* の品目、数をみる限り、最近の資料とあまり変わらないように思われる。戦後はインドネシア人によるものがいくつかみられるが、いずれも著者の経験に戦前の文献を加えたと考えられ、記載された薬用植物の品目は多いものでは400以上であるが、市場性についてはほとんど記載していない。しかしながら、最近インドネシア政府下部機関のひとつである食品薬品管理局 (Direktorat Jenderal Pengawasan Obat dan Makanan) が、市場の生薬を規制する目的で、1巻20品目ずつのモノグラフを1977年から出版しはじめ、1981年現在3巻まで既刊、この事業は数巻刊行予定であるときいている [1a-c]。

このように、インドネシアは戦後独立して以来、民族意識の高揚に伴い、伝統的薬物を認識し直す社会状況にある。このような傾向は発展途上国に共通しているが、近代医学の発達した日本でも、最近急増しつつある薬害に対する大衆の知恵として日本の民族医療である漢方が再認識され、漢方薬人口は年々増加してきており、保健薬としての漢方処方はずでに薬局方に約200処方が収載されている。

インドネシアにおける *jamu* 利用の状況であるが、商品として大きく三大別される。すなわち、(1) *Jamu* 材料(生薬) : *Jamu* 薬店で取り扱い、すでに処方されたものもある。*Jamu* 薬店には中薬店でみられるような医師はいない。店主はジャワ系、インド系、中国系、マレー系などさまざま、それにより生

薬の種類も少しずつ異なっている。(2) Jamu 製剤：粉末で、jamu 製剤会社の処方によるもので、ジャワ島のみならず外領にまで広く行きわたっているといわれている。Jamu 薬店にも置いてあり、手軽で便利なことから最もよく利用されていると思われる。(3) Jamu ドリンク：Jamu 薬店の店頭売りや若い女性行商人によるものがある。後者では毎日早朝に作り、約1ℓ容のウイスキーなどの瓶に入れ、数本を背負い籠で行商し、その日のうちに売り切ってしまう。ジャカルタやボゴールでは壮年から老年の男たちがこのような行商人を囲んで一服し、ドリンクを飲んで、束の間の清涼感を味わっている風景をみることが出来る。店頭売りの方は2～3ℓ容のステンレスか、ほうろろ製の容器で2～3種類あり、暑気当りや風邪などに母親が子供に飲ませたり、若い女性がやせるために飲んでいられるをよくみかける。これは毎日調製するのではなく、加温して数日くらいは保存がきくようである。このように、jamu はいろいろな形で、保健薬としてばかりでなく、ある種の病気の治療薬として多くの人々に利用されている。しかしながら、それらの生理作用や化学成分など科学的検討は未だほとんどなされていない。Jamu 製剤やドリンク剤も jamu 材料から製するものであるが、市場品は通常植物の一部でしかないため、その基原植物の同定が困難である。Jamu 材料の産地に行けば、その問題は解決する。しかしながら、研究材料の出所を追究することは、商品である場合それ

ほど容易なことではない。そこで、生薬のみからその基原植物の同定が必要となってくる。また、インドネシアは多民族国家であり、一物に対して多くの言語がある。このことから同名異物も少なからず存在すると思われる。

I 材料収集、同定および記載方法

Jamu 材料は、1店で取り扱う全品目を名称とともに収集した。用途や薬効は、病気の概念が異なること、および通訳介在のため精確を期待し得ないので、全部はききとっていない。薬店は非常に小さく、店名のないものがあつたので、記号を使って整理した。

ジョクジャカルタがジャワ文化の中心地のひとつであったことから、まずそこで集めたものについて述べる。1店はジャワ語のみを話す自称100歳以上という老婦人が店主の薬店(YJJ)、1店は生鮮食品マーケット内であつて、インドネシア語の通じるジャワ人の薬店(YJM)、最後の1店はジャワ人と中国人の混血婦人のいる薬店(YJS)で、収集した生薬はそれぞれ66、55および61品目であつた(Table 2)。生薬名はYJJ店ではジャワ人のM. Soehadji氏、YJM店では中国系インドネシア人のH. Wiriadinata氏、YJS店では収集者吉田集而がききとって書いたが、いずれも言語学者ではないので、発音を精確に表記しているかどうか問題がある。

3店の生薬を相互に比較するため、用部別に整理した。すなわち材・茎類、皮類、根茎

Table 2 Jamu Materials Collected in Three Shops at Yogyakarta

Mark	Number	Coll. date	Collector	Owner
YJJ	66	January 1978	Aya Nitta	Javanese who spoke Java language only
YJM	55	December 1978	Aya Nitta & H. Wiriadinata	Javanese who could speak Indonesian language
YJS	61	August 1974	Shuji Yoshida	half-blooded Javanese-Chinese

類(ショウガ科の根を含む)、根類、葉類、花類、果実類、種子類、全草類、その他類、動物類および鉱物類である。本報では材・茎類(Wood-trunk)——材4, 茎2——, 皮類(Bark) 8, 根茎類(Rhizome) 14, 根類(Root) 6, 葉類(Leaf) 1 および花類(Flower) 8, 合計43品目について述べ、残りは次報とする。

基原植物の同定はライデン大学薬学部生薬標本と照合、さらにライデン、Rijksherbarium, インドネシア、Herbarium Bogoriense ならびに京都大学理学部植物標本庫のものと比較して行なった。また、それらが薬用として使用されていることを参考文献(番号付記のもの)により確認した。同定の精度はかなりバラツキがあり、将来、より詳細な研究を行う予定である。皮類生薬では外観上からの鑑別が難しいので、内部構造の弱拡大写真を付けておく。根茎類生薬は外部形態(色、形、大きさ)や香りが内部構造よりも重要な鑑別点となる。

記載の順序は以下の通りである。まず用部ごとに大別したのち、同種あるいは近縁と思われる生薬ごとに一括し、整理番号(店名記号と生薬番号)と生薬名を見出しとして列挙した。同じ用部内の各見出しは基原植物の科名アルファベット順である。以下、各生薬について同定または推定された種名ならびに科名、そして文献から引用した地方名を列挙した。

学名の取扱いは最も厄介な問題であるが、最近インドネシア政府下部機関から刊行された文献にあるものはそれに従った。それ以外のもは文献から引用した学名を無批判にあげたものが多い。*Flora of Java* [10] に記載されている種は栽培種も含めて*印をつけたが、確かに分布していると思われる種でも見解の相違からか、もれているものもある。

地方名については、できる限り言語名とともに記載した。まず現在のインドネシア語

(Iと略す)、次に旧マライ語(Mと略す)、次にインドネシアを地域により7区分し、Sumatera, Kalimantan, Jawa (Baliを含む), Nusa Tenggara, Sulawesi, Maluku, Irianの順とし、コロンの前に置いた。言語名を地方名のあとに()で入れたが、言語名か地域名かわからないものがあり、オランダ語表記のものもある。東西南北は E., W., S., N. を付した。出所不明の地方名は最後に一括した。

なお、各生薬で気付いた点はⅡ 同定結果の各々の末尾に記述した。

() の省略は以下の通りである。J: Javanese, S: Sundanese, Mad: Madurese, Mak: Makassarese, Minangk: Minangkabaus, Minah: district Minahasa, S.O.K.: Sumatra east coast, S.W.K.: Sumatra west coast.

II 同定結果

Wood-trunk

Wood

1) YJJ 2 Kayu secang, YJM 45 Secang, YJS 1 Secang

Caesalpinia sappan L.* [1a; 3-9] Leguminosae

I: Kayu sema, Secang, M: Kayu sema (Menado), Lolong (Maluku), Secang (Jakarta), Sepang, Sumatera: Seupeung, Seupeueng (Aceh), Sepang (Gayo), Sopang (Toba Batak), Sapang, Cacang (Minangk), Jawa: Secang (S), Kayu secang (J, Mad), Soga jawa (J), Cang (Bali), Nusa Tenggara: Sepang (Sasak), Supa, Sapang (Bima), Sepel (Timor), Hape (Sawu), Hong (Alor Pantar), Sepe (Roti, W. Timor), Sulawesi: Kayu sema (Menado), Dolo (Bare), Sepang (Mak), Sepang (Bugis), Pasa (Minah Tomboeloes, Toeloers or

Tondanos), Naga (Minah Toeloers or Tondanos), Maluku: Sawala (Galela), Hinianga (Tobelo, Modoles), Sinianga (Loda), Singiang (Pagu), Sunyiha (Ternate), Roro (Tidore), Sefen (Weda), origin unknown: Kayu sapan, Sogo jawa.

2) YJJ 3 Widolo laut, YJS 3 Doro laut

Strychnos ligustrina BL. [3-9], *S. nuxvomica* L.* [4; 5], *S. rheedel* CLARK [4] Loganiaceae, *Ximenia americana* L. [4] Olacaceae, *Eurycoma longifolia* JACK. [7] Simarubaceae

M: Bidara laut, B-pait, B-putih, Kayu ular, Jawa: Dara laut, D-putih, Widoro laut (J), Bidara gunung (Mad), Nusa Tenggara: Songga (Bima), Ai betek, Ai hedu, Hau feta (Roti), Maba putih (Timor Samau), Elu, Ai baku maruk (Timor Tetoem), Sulawesi: Aju mapai, Bidara mapai (Bugis), origin unknown: Bidara pahit, Kayu bidara laut, Widla putih, Widoro putih.

2) 2店の生薬は形状が異なるが、いずれも *Strychnos* 属と思われ、*Ximenia* および *Eurycoma* 両植物の地方名は省略した。

3) YJJ 1 Cendana wang, YJM 10 Cendana, YJS 2 Cendana

Santalum album L.* [3; 6-9], *S. paniculata* ROXB. [5] Santalaceae

M: Cendana, Sumatera: Candana (Minangk), Kalimantan: Cindana (Katingan), Sindana (Dayak Tidoeng), Jawa: Candana (S, J, Bali), Candani (J), Candhana, C-lalek (Mad), Nusa Tenggara: Ai nitu (E. Sumba), Dana (W. Sumba), Kaju ata (Ende), Ai nituk (Roti), Hau mani (W. Timor), Ai kamelin (Timor Tetoem), Kamenir (Wetar), Maoni (Kisar), Sulawesi: Sundana (Sangir), Sondana (Mongondows), Ayu luhi (Gorontalo), Domedolu (Buol), Candana (Mak,

Bugis), Maluku: Kai saruno (W. Seram Elpapoeti), Ai saru'uno (Amahai), Ai salun or Ai sarun (Haruku), Ai saruno (Nusa Laut), Ail salun or Ail sarun (Saparua), Kasalune (Buru Kajeli), origin unknown: Cendani, Ilau mani, Kayu cendana, Kayuk, Lomodaro hout.

4) YJS 19 Kayu garu

Aquilaria bancana MIQ., syn. *Gonystylus bancanus* BAILL., *A. macrophylla* MIQ., *Gonystylus Miquelianus* T. et B., *A. malaccensis* LAMK. [5; 6; 8], *A. agallocha* ROXB. [9] Thymelaeaceae

Aquilaria—M: Karas, Kepang (Biliton), Mengkaras, Sumatera: Alim (Toba Batak), Kareh (Minangk), Halim (Lampung), origin unknown: Garu, Kayu garu, K-garu siam, Menameng-nameng, Pinang baik.

Gonystylus—M: Kayu bulu, Menameng, Nameng (Bangka).

4) Heyne [8] によれば、産地により属の異なるものがあり、また品質により多くの地方名があるようであるが、それらは省略する。

Trunk

5) YJM 51 Seriawan

Arcangelisia flava (L.) MERR.* [2a; 3; 5; 7; 8], syn. *A. lemniscata* BECC., *Anamirta flavescens* MIQ., or *Fibraurea chloroleuca* MIERS, syn. *F. tinctoria* HOOK. f. et TH. [8] Menispermaceae

Arcangelisia—I: Sirawan, M: Daun bulan, Tali kuning (Maluku), Jawa: Areuy ki koneng (S), Oyod sirawanan, Peron, P-?kebo, P-sapi, Sirawan, S-kunyit, S-susu, S-tai (J), Sulawesi: Uwus (Minah Tontemboans), Maluku: Wali or Wari bulan (Ambon), Gumi modoka (Galela), Molo-

leya (Tobelo), origin unknown: Kayu seriawan.

Fibraurea—M: Akar kuning, A-kunyit, A-mangkedun (Bangka), Areuy ki koneng (S), Peron (J).

5) Kloppenburg [7]によれば, Seriawanの名称を有する生薬は茎のほかに花, 葉など数種あるというが, 用部の一致するものだけをあげておく。

6) YJJ 4 Brotowali

Tinospora crispa (L.) MIERS ex HOOK. f. et THEMS.* [1b; 5-7], syn. *T. rumphii* BOERL. [3; 5; 6], *T. tuberculata* (LAMK.) BEUMEE ex HEYNE [3-6; 8] Menispermaceae

I: Brotowali, Jawa: Andawali (S), Antawali (J, Bali), Daun gadel, Bratawali, Putrawali (J), origin unknown: Kayu antawali, Butrawali.

Bark

7) YJJ 8 Babakan pule (Photo 1-a), YJM 3 Babakan pule (Photo 1-b), YJS 4 Kayu pule

Alstonia scholaris R. BR.* [2a; 3-8], syn. *A. spectabilis* R. BR. [5] Apocynaceae

I: Pule, M: Kayu gabus, K-skola (Minah), Pulai, Kalimantan: ?Hanyalutung (Dayak), Jawa: Lame (S), Pule (J), Polay (Mad), Sulawesi: Kaliti (Minah Bentenans), Reareangow (Minah Ponosakans), Bariangow (Minah Tomboeloes, Toeloers or Tondanos), Deadeangow (Minah Tonsawang), Rita (Mak), Lita-lita (Bugis), Maluku: Rite (Ambon), Tewel (Banda), Leleko (Galela, Loda), Rangere (Tobelo, Pagu), Angere (Modoles), Hange (Ternate), Irian: Aliag (Kalanafat), origin unknown: Kayu sekola, Kita, Rariangow, Mariangow.

8) YJJ 9 Pulosari (Photo 2), YJM 39 Pulasari, YJS 9 Pulowaras

Alyxia reinwardtii BL.* [1a], syn. *A. stellata* R. et S. [5-7], *A. lucida* WALL. [5-7; 9], *Alyxia* sp. [3-5; 8] Apocynaceae
I: Pulasari, Kulit Pulasari, M: Pulasari, Sumatera: Akar mempelas hari, Empelas hari, Mempelas hari, Palasari, Pulasari (Melayu), Jawa: Arey palasari, A-pulasari, Palasari (S), Pulasari (S, J, Mad, Bali), Das plasare (Mad), Adas pulasari (Jakarta), Sulawesi: Balasari (Buton), Pulasari, Calpari (Mak), Calapari (Bugis), Maluku: Purasane (Ambon), origin unknown: Kayu pulasari, Pulosari.

9) YJJ 10 Kayu rapet (Photo 3), YJM 26 Kayu rapet

Parameria laevigata (JUSS.) MOLDENKE* [1a], syn. *P. barbata* (MIQ.) K. SCHUM. [5-8], *P. angustior* (MIQ.) BOERL. [5; 6] Apocynaceae

I: Kayurapet, Pegatsih, Kulit Kayurapet, M: Akar gerip putih, Sumatera: Kayu rapet, Alar gerip putih (Melayu), Gakeman wayit (Lampung), Jawa: Kayu rapet (S), Megatsih, Gembor, Ragen (J), Medaksi (Mad), origin unknown: Gagen, Rapet.

10) YJJ 5 Kayu manis, YJM 34 Manis jangan, YJM 35 Manis jangan jawi, YJS 11 Manis jangan

Cinnamomum burmanni BL.* [1a; 5-9], syn. *C. chinensis* NEES, *C. dulce* NEES, *C. kiamis* NEES [5, 6] Lauraceae

I: Kulit Kayumanis, Kulit Kayumanis Padang, Keningar, M: Kayu manis, Kaniagar, Sumatera: Holim, H-manis, Modang siak-siak (Toba Batak), Kanigar, Kayu manis (Melayu), Madang kulit manih (Minangk), Jawa: Huru mentek, Kiamis

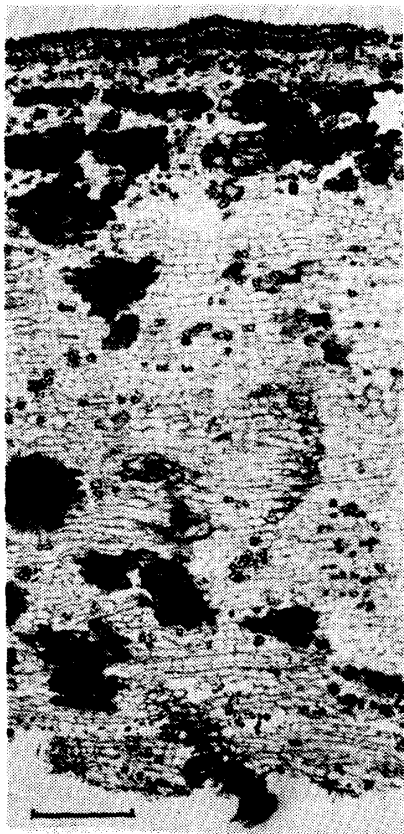


Photo 1-a
YJJ 8 Babakan pule

写真スケールは、Photo 4-a,
4-b は 200 μ , その他は 500 μ



Photo 1-b
YJM 3 Babakan pule

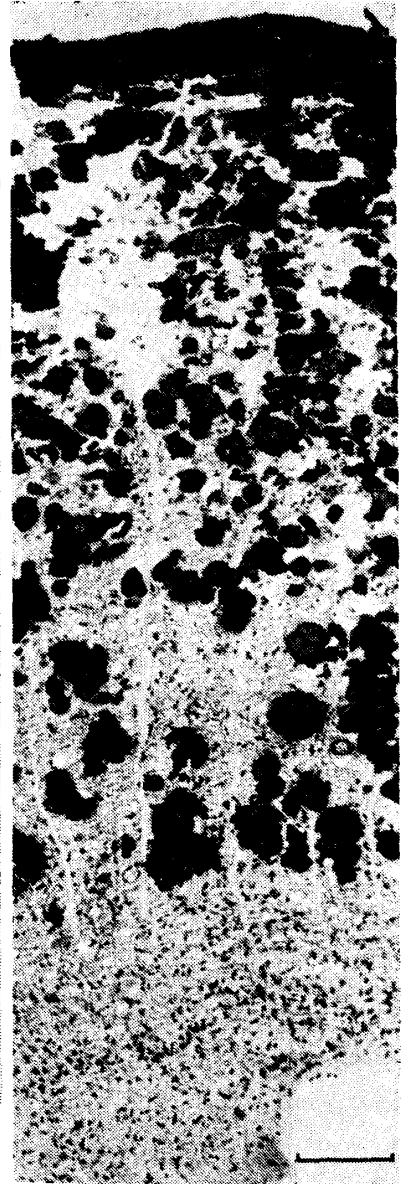


Photo 2
YJJ 9 Pulosari

(S), Manis jangan (J), Kanyengar (Mad, Kangean), Kacengar (Kangean), Kesingar, Kecengar, Cingar (Bali), Nusa Tenggara: Onte (Sasak), Kangingu (Sumba), Pu ndinga (Flores Manggarai), Kanino (Bare), origin unknown: Kassia, Kulit manis, Kayu legi, Kayu manis cina.

11) YJM 52 Sintok, YJS 6 Sintok, YJS 12 Sintok

Cinnamomum sintoc BL.* [3; 5-9] Lauraceae

Jawa: Huru sintok (S), Wuru sintok (J), origin unknown: Kulit sintok, Sintok, Sentok, Husintok.

12) YJJ 7 Babakan kranglean (Photo 4-b), **YJM 31 Kranglean, YJS 7 Keranglean** (Photo 4-c), **YJS 8 Keranglean** (Photo 4-a)

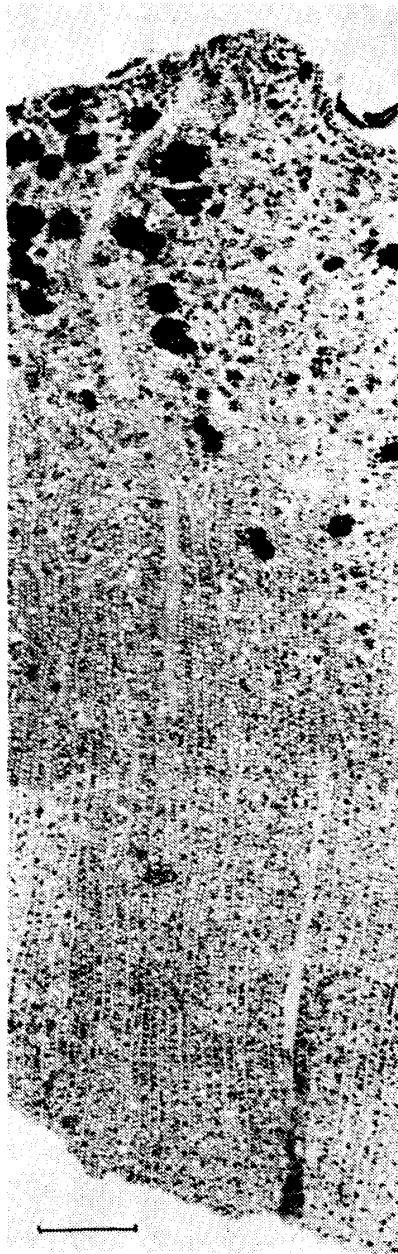


Photo 3
YJJ 10 Kayu rapet

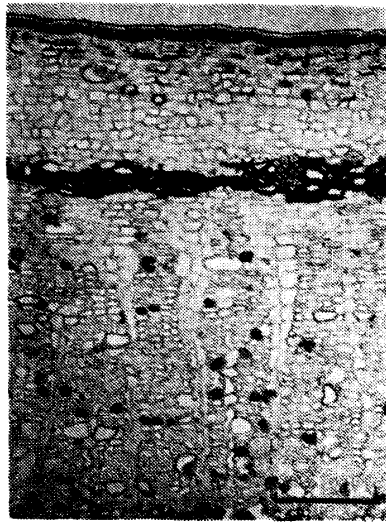


Photo 4-a
YJS 8 Kerangean

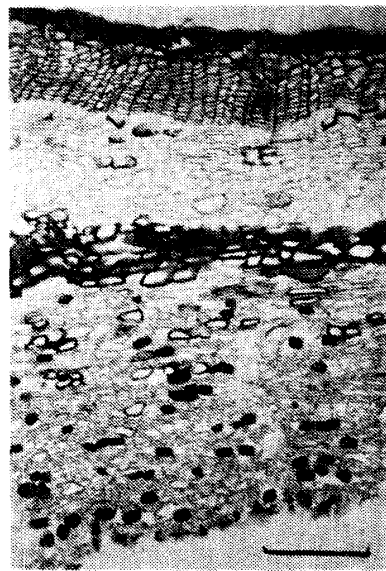


Photo 4-b
YJJ 7 Babakan kragean

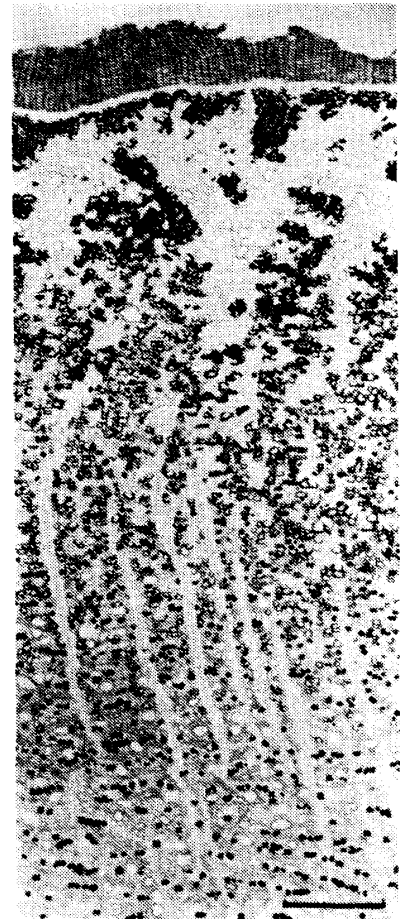


Photo 4-c
YJS 7 Kerangean

Litsea cubeba (LOUR.) PERS.* [3; 6-8]
Lauraceae

Jawa: Kilemo, Lemo (S), Krangeyan (J),
origin unknown: Krangean, Ki leman.

**13) YJJ 6 Mesoyi (Photo 5), YJM 36
Mesoyi, YJS 5 Mesoyi**

Cryptocarya aromatica (BECC.) KOSTERM.

[3; 4], syn. *Massoia aromatica* BECC. [5;
7-9] Lauraceae

Irian: Maho (Sekar), Ai kor, A-kori (Nu-
fur), Ai kor (Wandamen), Ai kori (Jaoer),
Triga (N. W. Rivier), origin unknown:
Kayu mesoyi, Mangsoi, Mangsoyi, Masoi,
Masoji, Masoyi, Masoyih, Masooi, Masuwi,



Photo 5
YJJ 6 Mesoyi

Mesoyi.

14) YJS 10 Kayu timur (Photo 6)

Grewia salutaris SPAN. [3; 5-8] Tiliaceae
M: Pasolder (Timor), Nusa Tenggara:
Kamila (Flores Larantoeka), Nila (Solor),
Lino (Roti), Hau tunis, Niloyawas (Timor),
origin unknown: Kayu timur, K-timor.

Rhizome

15) YJJ 20 Dlingo



Photo 6
YJS 10 Kayu timur

nga (Minah Tomboeloes or Tondanos), Ka-
lumunga (Minah Bentenans), Karimanga
(Minah Bantiks), Kariango (Bare), Areango
(Bugis), Kareango (Mak), Maluku: Ai
wahau (Ambon), Bila (Masarete), Irian:
Gavanam, Gavnam (S. W. Marind), origin
unknown: Ai wahu, Dringu, Jarangu, Je-
rengge, Serango.

16) YJM 27 Kayu nampu

Homalomena ?javanica V. ALDERW. v.

Acorus calamus L.* [1b; 3-
9] Araceae

I: Jaringau, Rimpang Jari-
ngau, Dringo, M: Daringu
(Ambon), Jerangau, Jeri-
ngau, Doringo (Menado),
Ganuak (Timor), Jariango,
Rangau, Riangan (Banjer-
masin), Sumatera: Jerenge,
Jeureunge (Aceh), Jerango
(Gayo, Karo Batak), Sarango
(Nias), Jarangau, Jariangau
(Minangk), Kalimantan: Ja-
riango (Banjar), Jawa: Dari-
ango, Jariango (S), Dlingo,
Dringo (J), Jharongo (Mad),
Jhariango (Kangean), Deri-
ngo, Jahangu, Jangu (Bali),
Nusa Tenggara: Kaliraga
(Flores Sika), Ganuak (Ti-
mor), Jeringo (Sasak), Nuak,
Ngganua' (Roti), Sulawesi:
Kalumenga (Minah Tonsa-
wangs), Karumenga (Minah
Tontemboans, Tonsawangs),
Koringa (Minah Tontembo-
ans), Kayombung (Minah
Ponosakans), Karimbenga
(Minah Tonseas), Karime-

Ros. [8] Araceae

Jawa: Nampu (Central Java), Nyampu (E. Java), Nambhu tana (Mad).

17) YJM 13 Gadung cina

Smilax china L. [5-8], *S. australis* R. BR. [8] Liliaceae

M: Gadung cina, G-sabrang, Sumatera: Peundang (Aceh), Pendang (Gayo), Jawa: Ghadhung tambha, G-cina (Mad), Sulawesi: Kayu sina, Kasina (Bare), Gadung (Mak, Bugis), origin unknown: Gheena, Obat raja.

18) YJJ 11 Laos, YJJ 12 Laos

Languas galanga (L.) STUNTZ* [1b; 2b; 3; 4], syn. *Alpinia galanga* (L.) SWARTS [5-9], *A. pyramidata* BL. [1b] Zingiberaceae
I: Lenguas, Rimpang Lengkuas, M: Lengkuwas, Languwas (Maluku), Lingkuwas (Menado), Engkuwas (Besemah), Sumatera: Langkueueh (Aceh), Lengkuus (Gayo), Kelawas (Karo Batak), Halawas (Batak Simeloengoen), Lakuwe (Nias), Lengkuas (Melayu), Langkuweh (Minangk), Lawas (Lampung), Kalimantan: Langkuwas (Ngaju, Sampit), Laus (Katingan), Jawa: Laja (S), Laos (J, Mad), Isem, Kalawasan, Laja, Lahwas (Bali), Nusa Tenggara: Langkuwas (Roti), Laos (Sasak), Lakuwahi (Kisar), Sulawesi: Hingkuase (Sangir), Linguwa (Menado), Likui, Lingkobato (Gorontalo), Linggobo (Buol), Ringkuwas (Minah Bantiks), Lingkoas (Minah Tonseas), Lincuas (Minah Tontemboans), Lekui (Bare), Laja, Languwasa (Mak), Aliku (Bugis), Maluku: Langwas (Kai), Lakwas (W. Seram), Kourola (Amahai), Laawasi, Lawasi (Ambon, Hila), Lakuwase (Ambon), Laawase, Latawasi (Haruku), Malawasil, Latawase (Nusa

Laut), Lagoase (Buru Kajeli), Galiasa (Galela, Loda, Ternate), Geliaha (Tobelo, Modoles), Waliassa (Pagu), Lauwasel (Saparua), origin unknown: Alku, Engkuas, Geliaha, Galiawa, Giliaha, Lagoasa, Languasa, Languueuh, Langwasel, Lawas, Lawasi, Lengkuueh, Likui.

19) YJJ 15 Kunci

Boesenbergia pandurata (ROXB.) SCHLECHT.* [1a; 2b], syn. *Gastrochilus panduratum* (ROXB.) RIDL. [3-9], *Kaempferia pandurata* ROXB. [6] Zingiberaceae

I: Temukunci, Rimpang Temukunci, M: Temu kunci, Tume kunci (Ambon), Teki kunci (Menado), Sumatera: Temukunci (Melayu), Tamu kunci (Minangk), Jawa: Temu kunci (S), Kunci (J), Temo kuncce, Temmo konce, Konce (Mad), Koncih (Kangean), Temu konci (Bali), Nusa Tenggara: Dumu kunci (Bima), Sulawesi: Tamu konci (Mak), Temu konci (Bugis), Maluku: Tumu konci, Tombu konci (Ambon), Anipa wahang, Uni nowo, Uni rawu (Hila), Arufu konci (Haruku), Sun (Buru Kajeli), Tampit (Ternate), origin unknown: Anipa wakang, Konce koneng, Konci, Kunci kuning, Tamo kunci, Temu pepet.

20) YJJ 19 Temu ireng, YJM 53 Temu ireng, YJS 15 Temu ireng

Curcuma aeruginosa ROXB.* [1b; 2b; 4-9], *C. phaeocaulis* VAL. [5; 6] Zingiberaceae
I: Temu hitam, Rimpang Temu hitam, M: Temu erang, T-itam, Sumatera: Temu erang, T-itam (Melayu), Tamu hitam (Minangk), Jawa: Koneng hideung (S), Temu ireng (J, Bali), Temo ereng (Mad), Sulawesi: Tamu leteng (Mak), Temu loteng (Bugis), origin unknown: Ireng, Koneng, Temo erang.

21) YJJ 21 Kunir

Curcuma domestica VAL.* [1a; 2b; 3-9],
syn. *C. longa* L. [5; 6] Zingiberaceae

I: Kunyit, Rimpang kunyit, Kunir, Koneng, M: Kunyit, Kuning (Maluku), Kunit, Janar (Banjermasin), Sumatera: Kakunye (Enggano), Kunyet (Aceh), Kuning (Gayo), Kunyet (Alas), Kuning (Karo Batak), Hunik (Toba Batak), Unik (Batak Mandailing), Odil, Ondil, Kondin (Simalur), Undre (Nias), Kunyit (Melayu), Kunjir (Lampung), Kunyir, Jiteng (Lampung Aboeng), Kalimantan: Henda (Ngaju, Katingan, Ot-danoem), Kunyit (Olon Maayan), Cahang (Panyabung), Dio (Penihing), Kalesiau (Kenya), Kunyit (Dayak Tidoeng), Kunir (Tinggalan), Kunit, Janar (Banjar), Jawa: Kunyir, Koneng, Ktemen (S), Kunir, K-bentis, Temu kuning (J), Konyek, Temu koneng (Mad), Kunyit (Kambang), Nusa Tenggara: Kunyi', Kunyik (Sasak), Huni (Bima), Kaungi, Wingir, Winguru (E. Sumba), Dingira, Hingiro, Kunita, Kunyi, Konyi, Wingira (W. Sumba), Kuwunyi (Sawu), Kuneh (Flores Ende), Guni (Flores Sika), Kuma (Solor), Kumoh (Alor), Kunik, Huni, Huni', Unik (Roti), Hunik (W. Timor), Kunir (Timor Tetoem), Kurlai (Leti), Lulu melai (Babar), Ulin (Tanimbar), Sulawesi: Uinida (Talaud), Kuni, Hamu (Sangir), Alawahu (Gorontalo), Kolalagu (Buol), Pagidon (Toli-toli), Uni (Toraja, Saoesaoe), Kuni (Toraja, Bare, Padoe, Lalaki), Kunyi (Mak, Salayar), Unyi (Bugis), Kuni (Mandar, Balanipa, Binoeang), Unyik (Mandar Tjampalagiang), Kunir (Minah Bentenans), Kunidi (Minah Bantiks), Kolawas (Mongondow), Kuni (Minah Tonseas, Ton-

temboans, Tonsawang), Kunir (Minah Tooeloers or Tondanos), Maluku: Tum (Kai), Unin (Goram), Ina, Kunin, Uni (E. Seram), Unin, One (W. Seram), Unine (W. Seram Piroe), Enelo (Amahai), Kumino, Unin (Hila), Unine, Unino, Uninun (Ambon), Unino (Haruku), Kunine (Nusa Laut), Kunino, Uni henal (Saparua), Kone (Masarete), Konik, Uni (Buru Amblaoe), Unin (Buru Kajeli), Kinu, Kon (Sula Fagoedoe), Gulati (Pagu), Gurati (Galela), Gogohiki (Tobelo), Guraci (Ternate, Tidore), Irian: Rame (Kapaur), Kandefu (Nufur), Nikwai (Windesi), Minnguai (Wandamen), Yaw (Arzo), origin unknown: Alawau, Huning, Kakunge, Kunreh.

22) YJJ 17 Temu giring, YJJ 18 Temu giring

Curcuma heyneana VAL. et v. ZIJP.* [2b; 3; 6-8], *C. viridiflora* ROXB. [6;9] Zingiberaceae

I: Temu giring, Jawa: Temu giring, T-reng (J), origin unknown: Gireng, Temu ireng.

23) YJJ 13 Temu lawak, YJJ 14 Temu lawak, YJM 50 Temu lawak, YJS 16 Temu lawak

Curcuma xanthorrhiza ROXB.* [1c; 2b; 3-9] Zingiberaceae

I: Temulawak, Rimpang temulawak, M: Temu lawak, Sumatera: Temu lawak (Melayu), Jawa: Koneng gede (S), Temu lawak (J), Temo labak (Mad), origin unknown: Aci koneng, Panggian tes, Temmo labak, Temo koneng, Temu besar, T-lawas, T-putih, T-raja, T-tis.

24) YJJ 16 Kunci pepet, YJM 22 Kunci pepet, YJS 14 Kunci pepet

Kaempferia rotunda L.* [2b; 5-9], *K. angusifolia* ROSC.* [5-9], *K. undulata*

T. et B. [6; 8] Zingiberaceae

I: Kunci pepet, M: Kunci menir, Temu putri (Jakarta), T-rapet (S.O.K.), Jawa: Kunir putih, Kunci pepet, Ardong (J), Konci pet (Mad), Kunci kunot (S), origin unknown: Kunyit putih, K-pepet, Konce pet, Koneng bodas, Temu lati, Kunci kuning.

25) YJJ 20 Kencur, YJS 20 Kencur

Kaempferia galanga L.* [1a; 2b; 3-9],
K. rotunda L.* [9] Zingiberaceae

I: Kencur, Rimpang Kencur, M: Bataka (Menade), Kencur (Jakarta), Kuncur (Timor), Cakur, Cangkor (Ambon), Sumatera: Ceuko (Aceh), Tekur (Gayo), Kaciwer (Karo Batak), Kopuk (Mentawai), Cakur (Minangk), Cokur (Lampung), Kencur (Melayu), Jawa: Cikur (S), Kencur (J), Kencor (Mad), Cekor (Kangean), Cekuh (Bali), Nusa Tenggara: Cekur (Sasak), Cekir (W. Sumba), Sokus, Soku', Sou, Sous (Roti), Soku (Bima), Sokung (Timor Kupang), Sikum (W. Timor), Sulawesi: Humo pototo (Gorontalo), Wakan (Minah Tontemboans), Suchur (Minah Tonsawang), Sukur (Minah Tonseas, Tontemboans), Sukuhu (Minah Bantiks), Kencur, Sukung, Sikum (Minah), Tadosi (Bare), Tukulo (Buol), Cakulu (Mak), Ceku (Bugis), Maluku: Asauli, Sauluh, Sahulu, Soul (Ambon, Hila), Umpa (Ambon), Souru (Haruku), Soulo (Nusa Laut, Saparua), Onegai (Buru Kajeli), Bataka (Ternate, Tidore), Kehiro (Amahai), Suha (E. Seram), Sogi (Goram), Irian: Ukap (Marind), origin unknown: Cenkuh, Cikuh, Sokung, Suuro.

26) YJJ 23 Bengle, YJM 5 Bengle, YJS 17 Bengle

Zingiber purpureum ROXB.* [1a; 5], syn.
Z. cassumunar ROXB.* [2b; 3-9], *Zingiber zerumbet* ROXB. [9] Zingiberaceae

I: Bengle, Rimpang Bengle, M: Bangle (Jakarta, Menado), Sumatera: Mugle (Aceh), Bengle (Gayo), Bungle (Batak Simeloengoen), Baglai, Banglai (Mentawai), Banglai (Palembang), Bunglai, Bangle, Kunit bolai, Kunnyit bolai (Melayu), Banglai (Lampung), Kalimantan: Bantalai (Ngaju), Jawa: Panglai (S), Bengle (J), Pandiyang (Mad), Banggele (Bali), Nusa Tenggara: Banggulae (Bima), Bangalae (Roti), Sulawesi: Manglai, Mangulai (Minah Bentenans), Bangeri (Minah Bantiks), Bangelei, Wangelei (Minah Tooeloers or Tondanos), Kekuniran, Kukundiren, Walegai (Minah Tontemboans), Bale (Mak), Panini (Bugis), Maluku: Unin makei (Ambon), Bangle (Ternate, Tidore), origin unknown: Bengere, Pandiang, Mungle.

27) YJJ 24 Jahe, YJS 18 Jahe

Zingiber officinale Rosc.* [1b; 2b; 3-9] Zingiberaceae

I: Jahe, Rimpang jahe, M: Alia, Jae, Goraka (Menado), Halia, Pedas (Besemah), Pemedas (Kutai), Sipadas (S.W.K.), Sumatera: Halia (Aceh), Bahing (Karo Batak), Pege (Toba Batak), Sipide (Mandailing), Lahia (Nias), Alia, Jae (Melayu), Sipadeh, Sipodeh (Minangk), Pege (Lubu), Jahi (Lampung Pabian, Paminggir), Jahik (Lampung Aboeng), Lahia (Lampung Pabian, Boemi, Agoeng), Kalimantan: Lai (Dayak Sampit Katingan), Jawa: Jahe (S), Jae (J, Kangean), Jhai (Mad), Jae, Jahya, Lahya, Cipakan (Bali Krama), Nusa Tenggara: Reja (Bima), Jae (Sasak), Alia (Sumba), Lea (Flores Lio, Sika), Lia,

Lie (Roti), Laie (Timor Kupang), Naije, Naijel (W. Timor), Ai manas, Masin manas (Timor Tetoem), Lia (Wetar), Lolai (Babar), Ilii (Tanimbar), Laia, Laian (Aru), Sulawesi: Luya (Mongondows), Moyuman (Minah Ponosakans), Melito (Gorontalo), Yuyo (Buol), Kuya, Kuni mayaya (Bare), Laia (Mak), Pese (Bugis), Lia, Buwo (Sangir Siae), Leya (Minah Bentenans), Lia Ria (Minah Bantiks), Sedep (Minah Tonseas), Lia (Minah Tomboeloes, Tooe-loers or Tondanos), Keri'it, Lia tana' (Minah Tontemboans), Leya (Bajos), Maluku:

Hairalo (Amahai), Puse, Sekeia, Sehi (Hila), Sewe, Siwe (Ambon), Sehi (Haruku), Sehil (Nusa Laut Saparua), Siwei (Buru), Gisoro, Goraka (Galela), Gihoro (Tobelo, Modoles, Pagu), Hilohiloto (Tobelo), Gisoro (Loda), Goraka (Ternate), Gora (Tidore), Irian: Lali (Kalanafat), Manaman (Kapaur), Pir (Nufur), Bagaw (Marind), origin unknown: Gember, Jhae.

28) YJM 40 Puyang, YJS 21 Puyang
Zingiber amaricans BL.* [2b; 9], *Z. aromaticum* VAL. [2b; 5] Zingiberaceae (See Table 3)

Table 3 Several Kinds of "Lempuyang" and Their Botanical Origins in the Literatures

Botanical Origin	Literature No.						
	1b	2b	3, 7	5	6	8	9
<i>Zingiber amaricans</i> BL.		L- L-emprit	L-emprit L-pait	L-emprit L-pait	L-emprit L-pait L-pahit	L-emprit L-pahit	L- L-emprit L-pait
<i>Zingiber aromaticum</i> VAL.	L-wangi L-emprit L-pait L-room L-rum L-nase	L- L-wangi	L-wangi	L- L-wangi	L-wangi L-emprit	L-wangi L-emprit L-pait L-room L-rum L-nase	L-wangi L-emprit L-pait
<i>Zingiber littorale</i> VAL.	L-pahit						
<i>Zingiber cassumunar</i> ROXB.		Bengle	Bengle	Bengle	Bengle	Bengle	Bengle L-
<i>Zingiber purpureum</i> ROXB.	Bengle						
<i>Zingiber zerumbet</i> J. SMITH	L-gajah L-kapur L-kebo L-paek	L-gajah	L-gajah L-kebo	L-kapur L-paek L-kuban	L-gajah L-kapur L-kebo	L-gajah L-kapur L-kebo L-paek	Bengle

28) Puyang つまり Lempuyang は3種類 L-emprit, L-wangi および L-gajah が区別されている。それらの基原植物と地方名の関係は Table 3 の通りである。ここで文献番号 [9] のものを無視すれば、基原植物は4種となり、そのうちの2種は従来混同されていたものであることがわかるので、それらをあげておく。

Root

29) YJM 41 Pule pandak, YJS 23 Pule pandak

Rauwolfia serpentina BENTH.* [3-6; 8]
Apocynaceae

M: Akar ticus, Jawa: Pule pandak (J),
origin unknown: Pulai pandak.

30) YJJ 27 Pucuk, YJM 43 Pucuk, YJS 24 Pucuk

Saussurea lappa L. [5; 6; 8] Compositae
origin unknown: Pocuk, Pucuk.

31) YJS 13 Loro setu

Andropogon citratus DC [5; 6], syn.
Cymbopogon citratus STAPF,* *A. nardus*
L. [5; 7; 9], syn. *C. nardus* RENDLE,* *A.*
schoenanthus BENTH. [5; 6], *A. nardus var.*
ceriferus [6; 8], *A. zizanoides* URBAN [7; 8]
Gramineae

M: Akar babau (Menado), A-banda (Timor),
A-wangi, Iser, Morawastu (S.O.K.), Narestu,
Narwatu, Usar, Sumatera: Useur (Gayo, Batak),
Hapias (Batak), Usa, Urek usa (Minangk),
Jawa: Janur, Narawastu, Usar (S), Larasetu,
Larawastu, Larawestu, Rarawestu (E. Java),
Karabistu (Mad Soemenap), Lorowistu, Rowistu
(Mad Bangkalan), Anggarawastu, Padang babad
sanur, P-resi, P-candaca (Bali), Nusa Tenggara:
Ambarwestu (Sasak), Nau sina fuik (Roti),
Sulawesi: Tagohi (Minah Bantikus), Wo-

ndu (Minah Bentenans, Tontemboans),
Tahale (Gorontalo), Akadu (Buol), Narawastu,
Sare ambong (Mak, Bugis), Maluku: Babuwa
mendi (Weda), Ruju-ruju (Galela, Tobelo,
Modoles, Pagu), Gara ma kusu batai (Ternate),
Bara ma kusu batai (Tidore), origin unknown:
Akar batahu, Alang alang wangi, Babua mendi,
Jamur, Loro setu, Sere bandang, Sereh wangi,
Sukut kemangi.

31) Heyne [8] は地上部（全草）を使う場合と地下部（根）を使う場合を別種として記載しているが、生薬からは同定ができなかった。地方名は地下部を使う場合のものである。

32) YJJ 25 Kayu legi, YJM 30 Kayu legi, YJS 22 Kayu manis

Glycyrrhiza glabra L. [5; 7-9] Leguminosae
M: Kayu manis china, Jawa: Kayu legi (J),
Kaju manes cena (Mad), origin unknown:
Kayu manes, K-manis.

33) YJJ 26 Klembak, YJS 25 Kelembak

Rheum sp. [5-8], *R. palmatum* L. [9] Polygonaceae
M: Kelembak, Jawa: Kalemba (S), Kalembak (J),
Mad Pamekasan, Bangkalan, Talembak (Mad Pamekasan),
origin unknown: Kayu garu, Klembak.

34) YJM 6 Besole

unidentified.

34) 本生薬は草本植物の根と思われる。Heyne [8] はこれに *Chydenanthes excelsus* (BL.) MIERS, Lecythidaceae をあてているが、その用部は皮および種子であって、本生薬とは一致しない。

Leaf

35) YJJ 28 Jogerap, YJM 17 Jong rahap, YJS 27 Jong rahap

Baeckea frutescense L. [1a; 3; 5-9] Myrtaceae

I: Daun Junggrahab, Junggrahab, M: Jungjung atap, Ijar (Bangka), Ujung atap, Sesapu (Biliton), Si gamei-gamei (S.W.K.), Sumatera: Aron (Aceh), Game-game (Batak), Si gamei-gamei (Minangk), Ijar atap, Junjung atap, Tuttur atap (Bangka), Ujung atap, Sesapu (Biliton), Ujung atap, Daun cucur atap (Melayu), Jawa: Jung rabab, Jung rahab, Jung raab, Ujung raab (J), Jung rahab (Mad), Anjung atep, Anjung raab (Bali), origin unknown: Jhunggrahab, Kayu racak, K-racah.

Flower

36) YJS 48 Mungsi arab

Artemisia cina BERG. [5; 7; 8] Compositae
origin unknown: Mungsi arab, Musi arab, Mose arab.

37) YJJ 33 Sekarwulu, YJJ 34 Kembang pule, YJM 48 Sekar pule

Carthamus tinctorius L. [1c; 3; 5; 8; 9] Compositae

I: Kembang pulu, Kesamba, M: Kasumba, Sumatera: Kesumba (Melayu), Jawa: Kembang pule (J), Kasombha (Mad), Sulawesi: Rale, Ralet (Bugis), origin unknown: Kasomba.

38) YJS 28 Sukma

Gunnera macrophylla BL.* [5-8] Haloragaceae

Jawa: Hariyang gede, Tarate gunung (S), Sukmadiluwih (J), origin unknown: Kembang sirih, Sukmodiluwih, Teratai gunung.

38) 本生葉は *Piper betle* L. キンマの花穂によく似ているため、しばしば混同され、Kembang sirih (sirih はキンマの名称) の名称をもつことがある。

39) YJJ 32 Sudowaya, YJM 24 Kembang sidowayah

Woodfordia fruticosa (L.) KURZ.* [1c; 3; 4; 9], syn. *W. floribunda* SALISB. [5-8] Lythraceae

I: Sidawayah, Bunga dan buah sidawayah, Jawa: Sidawayah, Sidowayah (J), Nusa Tenggara: Silu, Situ (Timor), origin unknown: Padisari.

40) YJM 19 Kembang pala

Myristica fragrans HOUTT.* [8] Myristicaceae

41) YJJ 30 Cengkeh, YJM 11 Cengkeh
Syzygium aromaticum (L.) MERR. et PERRY* [4], syn. *Eugenia aromatica* O.K. [3; 5-8], *E. caryophyllata* THUNB. [3; 5; 6; 9] Myrtaceae

M: Bunga lawang, Kembang lawang, Cengkeh, Sumatera: Bungeu lawang (Gayo), Bunga lawang, Singke (Karo Batak), Bunga lasang (Toba Batak), Sake (Nias), Bunga cangkeh (Minangk), Cangkih (Lampung), Kalimantan: Sangkeh or Cangke (Ngaju), Jawa: Cengkeh (S, J, Mad, Bali), Wunga Lawang (Bali), Nusa Tenggara: Cangkeh (Bima), Sinke (Flores Sika), Pelasenge (Roti), Sengke (Timor), Cengke (Kisar), Sulawesi: Bunga rawan (Sangir), Singke (Minah Bentenans, Tomboeloes, Toeloers or Tondanos, Tonsawang), Bulangang (Minah Ponosakans), Cingke (Minah Tonseas), Since (Minah Tontemboans), Hungo lawa (Gorontalo), Bulangawang (Mongondows), Bwungo laango (Buol), Cangke (Mak), Sangke (N. Salayar), Cengke (Bugis), Maluku: Mangalaan (Goram), Poirawane (W. Seram Elpapoeti), Pukelawane (Waraka), Poilaane (W. Seram), Peelaano (Amahai), Kupanahane

(S. Seram Noeaouloe), Pulawano (Sepa), Pulawane (Ambon), Pokolawan, Poulawano (Haruku), Pekalawa, Pualawanyo (Nusa Laut), Perawano (Saparua), Buglawa (Buru Kajeli), Buglawan (Lisela, Masarete), Gomode (Weda), Bululawa (Galela, Tobelo, Modoles, Pagu), Buwalawa (Loda, Ternate), Gomode (Tidore), origin unknown: Wanga lawang.

42) YJM 55 Kayu wala, YJS 30 Kayu lanang

Borassus flaberifer L. [3-8] Palmae
M: Lontar, Pohon siwalan (Banjermasin), P-tuwak (Timor), Sumatera: Lonta (Minangk), Kalimantan: Lontar (Dayak Sampit), Jawa: Ental, Etal, Lontar, Tar (J), Taal, Tarebung (Mad), Bhungkana kara-kara (Kangean), Tribung (Sepodi), Pohon daun tala (Kambang), Ental, Rontal (Bali Krama), Nusa Tenggara: Manggitu, Menggitu (Kambara), Manggut (E. Sumba), Magitu, Manggita, Mangita, Mangito (W. Sumba), Kepuwe duwe (Sawu), Puu kori (Flores Ende), Koli (Flores Sika), Tuak pokang (Solor), Babelahe (Alor), Tua (Roti, W. Timor), Akadirun (W. Timor Te-toem), Tio (Leti), Aalun (Wetar), Togo (Loewang-Sermata), Koo ono (Kisar), Kalso (Tanimbar), Sulawesi: Pun lontar (Toli-toli), Lontara (Toraja Padoe), Tala (Mak Salayar), Ta (Mak), Lomo sariang (Mandar Madjene), Tala' (Mandar Tjampalagiang), Maluku: Koil (Kai), Kolir watan (E. Seram), Lontoir (Hila), Magal honi (Buru Kajeli), Magar kaun (Lisela), Emponing sjar (Hoekoemina), Lontar foni (Amblau), Irian: Seriai (Jaurefa), Uga (Marind), origin unknown: Aalum, Bhangkama kara-kara, Buah lontar, Mangitol,

Pohon tuwak, Pulu kori, Soko, Stal, Wala.
43) YJJ 29 Kembang sari, YJM 18 Kembang sari, YJS 29 Bang sari
Schima wallichii (DC) KORTH. [2a], *S. noronhae* REINW. [6; 8] Theaceae
I: Puspa, Sumatera: Simar tolu (Batak), Madang bungkar, M-miang (Minangk), Jawa: Huru batu, H-manuk, Puspa (S), Puspa (J).

43) 本生薬の名称はインド生薬の *Mesua ferrea* L. Guttiferae に由来する。確かによく似ており、また本生薬（花）および果実が西ジャワで伝統的に使われていたため、混同というよりすりかえが生じたと考えられる。

謝 辞

本研究の一部は東南アジア研究センター海外調査資金を得てなされたものであり、研究の機会を与えられた東南アジア研究センターに深謝いたします。さらに、材料の収集にご協力いただいたインドネシア、ジョクジャカルタの Mohamed Sohadji 氏、およびボゴール、Herbarium Bogoriense の Harry Wiriadinata 氏に謝意を表します。また、材料の同定に際してはライデン大学薬学部生薬標本庫、ライデン、Rijksherbarium、インドネシア、Herbarium Bogoriense ならびに京都大学理学部植物標本庫の植物標本を利用させていただきましたが、ここに合わせて感謝いたします。

参 考 文 献

- 1a) Indonesia, Direktorat Jenderal Pengawasan Obat dan Makanan. 1977. *Materia Medika Indonesia Jilid I*. Jakarta: Direktorat Jenderal Pengawasan Obat dan Makanan, Departmen Kesehatan Republik Indonesia.
- 1b) ————. 1978. *Materia Medika Indonesia Jilid II*. Jakarta: Direktorat Jenderal Pengawasan Obat dan Makanan, Departmen Kesehatan Republik Indonesia.
- 1c) ————. 1979. *Materia Medika Indonesia Jilid III*. Jakarta: Direktorat Jenderal Pengawasan Obat dan Makanan, Departmen Kesehatan Republik Indonesia.
- 2a) Indonesia, Lembaga Biologi Nasional—LIPI. 1978. *Tumbuhan Obat*. Bogor: Lembaga

- Biologi Nasional—LIPI.
- 2b) —————. 1977. *Ubi-ubian*. Bogor: Lembaga Biologi Nasional—LIPI.
 - 3) van Steenis-Kruseman, M. J. 1953. *Select Indonesian Medicinal Plants*. The Bulletins of the Organization for Scientific Research No. 16. 1-90.
 - 4) Indonesia, Lembaga Ilmu Pengetahuan Indonesia—Lembaga Biologi Nasional—Kebun Raya cabang Purwodadi. 1977. *Tanaman Obat-Obatan dan Khasiatnya*. Bogor: LIPI—LBN—Kebun Raya cabang Purwodadi.
 - 5) Dihimpun dan Disusun oleh Mardisiswodjo, S.; and Rajakmangunsudarso, H. 1975. *Cabe Puyang, Warisan Nenek Moyang I*. Jakarta: PT Katya Mreda.
 - 6) Sastroamidjojo, A. S. 1967. *Obat Asli Indonesia*. Tjetakan Ketiga. Serie Pustaka Universitas No. 10. Dian Rejkat.
 - 7) Kloppenburg-Versteegh, J. 1934. *Vierde Heryiene en Vermeerderde Druk. Wenken en Raadgevingen Betreffende het Grbruik van Indische Planten Vruchten. enz.* s'Gravenhage: N. V. Boekhandel en Drukkerij v/h G.C.T. van Dorp & Co.
 - 8) Heyne, K. 1950. *De Nuttige Planten van Indonesië*. 3e Druk. Wageningen: H. Veeman & Zonen.
 - 9) 山本佳夫; 福地言一郎 (編). 1944. 『東印度諸島産薬用植物資源に関する調査報告書』東京: 第一海軍療品廠研究部.
 - 10) Backer, C. A. 1963-1968. *Flora of Java*. Vols. I-III. Leyden: Rijksherbarium, Netherlands Organisation for the Advancement of Pure Research.
 - 11) Burkill, I. H. 1966. *A Dictionary of the Economic Products of Malay Peninsula*. Vols. I, II. Kuala Lumpur: Governments of Malay and Singapore by the Ministry of Agriculture and Co-operatives.
 - 12) 新田あやほか. 1972-1980. 「東南アジアにおける生薬の比較研究」『東南アジア研究』9(4): 597-614, 10(1): 105-120, 10(2): 335-350, 11(1): 107-129, 11(2): 256-266, 12(2): 254-268, 12(4): 507-524, 13(2): 295-307, 13(4): 641-654, 18(1): 124-153.